



アドビシステムズ社、 Adobe ColdFusion 8 の日本市場における提供を開始

エンタープライズ版を購入しやすい価格に変更し、
スタンダード版のパッケージ販売を開始

【2007年9月20日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：ギャレット イルグ（Garrett J. Ilg）以下、アドビシステムズ）は、「Adobe® ColdFusion® 8」の日本市場における提供が9月21日より開始されると発表しました。動的な Web サイトやインターネットアプリケーションを構築するための強力な開発ツールである Adobe ColdFusion 8 は、開発作業の生産性を高め、複雑なエンタープライズ環境と連携し、表現力豊かで魅力的なアプリケーション体験をユーザに提供します。

Adobe ColdFusion 8 では、開発者が同製品を利用して開発したアプリケーションを、Adobe Flex、Adobe PDF、Adobe Integrated Runtime (AIR)、Adobe LiveCycle® など、さまざまなアドビの技術や製品と連携させることが可能です。また、Adobe ColdFusion 8 では Ajax ベースのコンポーネントが活用できるため、複雑な環境を直感的なインターフェイスに統合して、魅力的なアプリケーションを設計し、展開することが可能です。

Adobe ColdFusion 8 は、.NET および Microsoft® Exchange Server との連携、Microsoft Windows® Vista® への対応、JBoss への対応を含むプラットフォームサポートの拡大と、最新エンタープライズデータベースとの統合を実現し、組織の効率性、相互運用性、拡張性の向上を可能にします。

ローランド株式会社は長年にわたり、公開 Web サイトおよびイントラネットのサーバに Adobe ColdFusion を採用しています。同社国内営業統轄部 営業業務部／カスタマーリレーション事務局長代理の土屋 敏彦氏は、「ローランドでは現在、新しいコンテンツマネジメントシステム（CMS）を構築中です。このシステムでより使いやすく魅力的な情報配信を実現するために ColdFusion 8 を採用しました。新しいサーバモニタリング機能によるパフォーマンスおよび信頼性の向上にも期待しており、その他のシステムについても ColdFusion 8 への移行を計画しています。現在、製品情報ページおよびその CMS、各種メンバー向けサイトなど数多くのシステムが ColdFusion で開発され稼働しています。当社のビジネスにおいて今や ColdFusion は非常に重要な位置付けにあります」と述べています。

製品構成

Adobe ColdFusion 8 は、2つのエディションで提供されます。Adobe ColdFusion 8 エンタープライズ版は、単一または複数のサーバ上、あるいは既存の J2EE アプリケーションサーバ環境において複数の Web サイトやアプリケーションを運用するための高性能なソリューションです。参考価格を従来の 1,260,000 円から 1,029,000 円（通常版の場合）と約 18% 値下げし、購入しやすい価格になりました。Adobe ColdFusion 8 スタンダード版は、単一のサーバ上でアプリケーションを提供し、簡単に管理および設定できるため、中小規模の組織に最適です。従来のライセンス販売に加えて、パッケージ販売およびダウンロード販

売が追加されます。また、無償で提供されるデベロッパー版は、エンタープライズ版の全機能を搭載し、開発目的のみに利用できます。ColdFusion MX 6 および 7 のライセンスをお持ちの方は特別価格にてアップグレードが可能です。

参考価格

ADOBE COLDFUSION 8 スタンダード版

■ 通常版	178,500 円	(本体価格 170,000 円)
■ 通常版 (アップグレード) ※ 1	89,250 円	(本体価格 85,000 円)
■ アカデミック版	117,600 円	(本体価格 112,000 円)
■ アカデミック版 (アップグレード) ※ 1	58,800 円	(本体価格 56,000 円)
■ 無償体験版/デベロッパー版	Web サイトからのダウンロードで提供	

※ 1 アップグレード版の対象ユーザは、ColdFusion MX 6x および ColdFusion MX 7 スタンダード版の正規登録ユーザ

ADOBE COLDFUSION 8 エンタープライズ版

■ 通常版	1,029,000 円	(本体価格 980,000 円)
■ 通常版 (アップグレード) ※ 2	514,500 円	(本体価格 490,000 円)
■ 通常版 (トレードアップ) ※ 3	850,500 円	(本体価格 810,000 円)
■ アカデミック版	678,300 円	(本体価格 646,000 円)
■ アカデミック版 (アップグレード) ※ 2	339,150 円	(本体価格 323,000 円)
■ アカデミック版 (トレードアップ) ※ 3	561,750 円	(本体価格 535,000 円)
■ 無償体験版/デベロッパー版	Web サイトからのダウンロードで提供	

※ 2 アップグレード版の対象ユーザは、ColdFusion MX 6x および ColdFusion MX 7 エンタープライズ版の正規登録ユーザ

※ 3 トレードアップ版の対象ユーザは、ColdFusion 8 スタンダード版の正規登録ユーザ

必要システム構成

Windows

- ・ インテル® Pentium® II または AMD Athlon プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- ・ Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 3)、Windows 2000 Server、Advanced Server、Datacenter Server (Service Pack 3)、Windows Server® 2003 Web、Standard、Enterprise (Service Pack 1 および R2)、Windows XP Professional、Home Edition、または Windows Vista
- ・ 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- ・ 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ DVD-ROM ドライブ

Macintosh®

- ・ PowerPC® G4、G5、またはインテルプロセッサ
- ・ Mac OS X v.10.4.x
- ・ 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- ・ 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ DVD-ROM ドライブ

Linux

- ・ インテル Pentium II、または AMD Athlon プロセッサ
- ・ Red Hat Linux AS または ES 3.0、4.0、5.0、または SUSE Linux Enterprise Server 9、10
- ・ 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- ・ 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- ・ DVD-ROM ドライブ

Solaris®

- ・ SPARC® プロセッサ
- ・ Solaris 9 または 10

- 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- DVD-ROM ドライブ

AIX® (RS/6000)

- POWER3 プロセッサ
- IBM® AIX® 5L 5.2 または 5.3
- 512MB 以上の RAM (1GB 以上を推奨)
- 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- DVD-ROM ドライブ

ColdFusion 8 サポート対象システム一覧

ColdFusion 8 の各エディションがサポートするオペレーティングシステム、Web サーバ、データベース、J2EE アプリケーションサーバの完全なリストがご覧いただけます。

http://www.adobe.com/products/coldfusion/pdfs/cf8_systemsupportmatrix.pdf

ホスティングサービスを利用することもできます。以下のホスティングパートナーは、Adobe ColdFusion 8 を使用できる高機能なホスティングサービスを提供します。

- heteml (株式会社 paperboy&co.) <http://heteml.jp/>
- 株式会社フューチャリズムワークス <http://cf.futurism.ws/>

また、開発者コミュニティの Japan ColdFusion User Group (JCFUG) は、ColdFusion 8 開発者の情報交換のためのフォーラムを開設しています。

- Japan ColdFusion User Group (JCFUG) <http://coldfusion-style.jp/>

Adobe ColdFusion 8 の詳細については <http://www.adobe.com/jp/products/coldfusion/> (9月21日に公開予定) をご覧ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。